

松本市市民活動 サポートセンター通信 NO.28

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

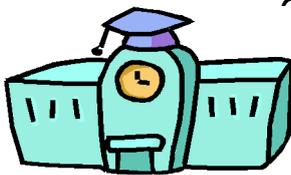
市民活動フェスタ2010in松本

ぼくらの学校

7月24日(土) 10時～15時

会場：あがたの森文化会館 講堂他

～市民力を 知ろう 語ろう 繋げよう～



オープニングイベント

9:45～10:30 会場：講堂
ジャズビッグバンドの演奏で
「ぼくらの学校」開校！
☆The Big Band of Music Toys



ステージパフォーマンス

12:15～13:00 会場：講堂

☆浅間温泉の市でお手玉を楽しむ会
+ 本郷童謡唱歌を歌う会(共演)
☆ヴォーカル&ピアノユニット「あじさい」

ポスターセッション

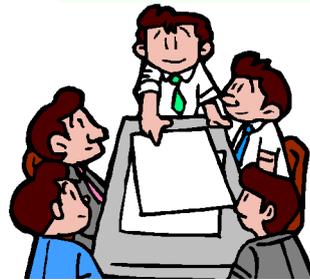
13:00～14:30 会場：講堂

ブース内での資料やポスターの展示と説明……投票により展示団体に賞が贈られます。また、各団体のブースを巡るスタンプラリーで協賛団体のオリジナルグッズなど素敵な景品も当たります！

プレゼン大会

10:30～12:00 会場：講堂

映像を使ったステージ発表で参加団体がプレゼン力を競い合います。来場者の投票により賞が贈られます。



グループディスカッション

13:00～14:30 会場：第5会議室

「松本から発信！世界に広げようぼくらの活動！」
主催：松本政経塾

ワークショップ 10:30～14:30

各種ワークショップで活動の体験学習ができます。

テーマ	会場	主催
マイはしづくり	第1会議	信州ハチドリねっと湧～く
積み木	第1会議	オイスカ産業開発協力団
葉っぱでプリント	野外テント	森倶楽部21
エコクラフト	野外テント	山口明男
お手玉	第3会議	お手玉を楽しむ会

*プログラムにより材料費がかかる場合があります。

販売コーナー

11:00～14:00 会場：野外テント

おやき、カレー、お菓子などの軽食・喫茶、手作りのオリジナル商品や食品販売など…

☆ひなたぼっこの家、☆アトリエ Moo

☆てくてく、☆エルサポートパノラマ

☆森倶楽部21、☆シルバー人材センターなど

10:30～14:30 会場：第2会議室

就労体験として中古書籍の販売をします。

☆バリューブックス+侍学園(合同出店)



帰りの会

14:30～15:00 会場：講堂

プレゼン大会、ポスターセッション表彰
スタンプラリー抽選など

★皆さまのお越しをお待ちしています…

Close up

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！

今回お話をうかがったのは、「エルサポートパノラマ」と「古い電車で新しい語らいの会」の両団体です。

エルサポートパノラマ

◇連絡先 住所:松本市沢村1-10-9
TEL/FAX:0263-35-0811

エルサポートパノラマは、平成10年4月共同作業所パノラマとして松本市沢村二丁目に発足した。

同年11月に現在地に移転し、平成16年3月には建物を新築。そして平成20年5月には、一般企業への就職のための訓練やその機会を提供するという「就労事業所」として新たにスタートした。

ちなみにエルサポートパノラマの「エル」とは【LIVE=生きる】と【LABOUR】の二つの意味がある。パノラマの職員構成は施設長の他、生活支援員・職業指導員・就労支援員など全部で8名である。

パノラマには現在、知的・身体・精神にそれぞれ障がいのある人たち26人が通所しており、『であい・ふれあい・ささえあい』の精神のもと、職員の皆さんの熱心な親身になった指導により、家庭的な雰囲気の中で訓練に励みながら共同生活を送っている。主な活動内容は、授産活動として「受託清掃」「資源物ステーション設置による回収」「ケーキ・クッキーづくり」などの他、中央図書館での喫茶パノラマの営業、生活訓練として「食事作り」「掃除・洗濯」等々、さまざまな事業を行っている。また文

化活動の一つとして毎年開催される『パノラマ祭』は多くの人々が訪れ、地域の住民や参加者たちとのふれあいの場となっている。施設の一日は、午前10時の中央図書館の清掃から始まり午前・午後の作業を経て「帰りの会」が終わる午後4時まで。

施設長の降旗須真子さんは「皆さんとの生活は楽しいが、保護者も本人も自立することが大事。今後それぞれが高齢化することに伴い、施設をグループホームという形にすることも必要となってくる」と話す。

なお、パノラマでは7月初めから、中央道みどり湖パーキングエリアで手作りクッキーの販売を始めたので、多くの方に利用していただけるよう期待している。



アットホームな雰囲気での作業

古い電車で新しい語らいの会

◇連絡先 TEL:090-3800-1285 (山口)
E-mail:denn2nusi@yahoo.co.jp
URL:http://www.matsuaz.com/engawa/

3年前、松本電鉄上高地線新村駅には、現存する日本最古の電車「ハニフ号」が保存されていた。

平成18年12月「古い電車で新しい語らいの会」が結成された。きっかけは、松本大学地域づくり考房『ゆめ』主催の「まちの縁側づくり講座」だった。「子どもからお年寄りまで、誰もがいつでも気軽に寄れる場所＝地域の縁側をつくりたかった」と同会代表の山口茂さん。現在新村公民館の委員をしている山口さんは、「地域の再発見！新村の宝を探す」という公民館の標語に思いを馳せていた。そんな山口さんが出会ったのが先の「ハニフ号」だった。結



5000系車内での鉄道祭りのようす

局ハニフ号は、埼玉県県の鉄道博物館に移管されたが、かつてテレビドラマ「白線流し」のロケにも使われた「5000系」と言われる車輛が同駅に残されていて、

この車両を縁側にして会の活動が始まった。

現在会員は約20名で、大学生、地域住民、松電関係者がほぼ同数いる。活動としては、毎年3月21日開催の「上高地線ふるさと鉄道祭り」をメインに、松本大学学園祭への出展などもしている。また、地方の私鉄見学会を実施した成果が、風鈴電車・酔い良い電車・ギャラリー電車などのアイデア提供にも繋がった。その他電車内でお茶を飲みながらメンバーが講師を務める編み物、陶芸、木目込み人形づくりなどの講座も人気だ。

しかし、そんな活動も今曲がり角にあるという。それは活動が「地域の宝物を生かして縁側をつくる」という本来の目的を超え、上高地線存続運動へと発展していく現状に難しさを感じているからだという。山口さんは「会の方向が二つになった」と悩みも打ち明けてくれた。今年5月からは、会の名称が「上高地線応援隊」に変わった…。

松本市ボランティアセンターからのご案内

災害ボランティア募集

災害発生時に開設される「災害ボランティアセンター」では、被災者支援のためのボランティアを派遣します。今年度、松本市の総合防災訓練において、ボランティアセンターを立ち上げ、運営訓練をします。災害時、被災者支援のための災害ボランティアに関心のある方、登録を希望される方など、ぜひご参加ください。当日は、現場で活動するボランティア役や、受け入れスタッフ役になっていただき、実際の災害ボランティアセンターを想定した訓練をします。

- ◆ 日時 平成22年9月1日(水) 午前9時～ (松本市の総合防災訓練実施時)
- ◆ 場所 松本市梓川小学校周辺
- ◆ 問合せ 松本市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL25-7311



シリーズ『支える人たち』

～ ① 信州まつもと大歌舞伎 ～

松本市は、多くのさまざまなイベントや事業があります。その中には、ボランティアとして参加し、陰で支えている人々がいいます。今回から、そうした人たちにお話を伺うことにしました。第1回目は、先に行われた「信州まつもと大歌舞伎」です。



田畑 亮さん

田畑亮さんは、信州大学経済学部の3年生で大阪府堺市の出身。

田畑さんは、2年前の「まつもと大歌舞伎」の時に、芸術館にいる知人から、歌舞伎を町全体で盛り上げるため

学生の皆さんに手伝ってもらいたいとの要望に応じて、学生サポーターとして第1回目より参加した。前回は冊子の作成の他、受付業務も担当した。今回は信州大学学生広報メンバーの1人として冊子作りに携わり4ページ分を受け持った。冊子は9ページのフルカラーで公演の内容や予定表等が載っているもので、7月5日に行われた松本城への「登城行列」の際にも観客に配られた。

約1ヶ月半にわたる企画・編集の作業の中で印象に残っているのは、東京まで学生スタッフ3人で串田和美芸術監督を訪ねインタビュー取材をしたことであり、大変だったけれど楽しかったとのこと。今回「まつもと大歌舞伎」に関わったことで、「この貴重な経験を大切にして、機会があれば歌舞伎というものをじっくり鑑賞してみたい」と語った。



西澤朱織さん

「市民と歌舞伎人たちが一緒になって一つのものを創りあげることの素晴らしさを感じたのは貴重な経験だった」と語るのは西澤朱織さん。

西澤さんは、信州大学人文学部の4年生。前回参加した友人から「とても楽しかった」と聞き、今回の「まつもと大歌舞伎」は踊り手の1人として参加した。高校時代は演劇部で現在も大学の踊りのサークル「和っしょい」に所属しているが、今回の公演では4場面ずつ5公演出演した。歌舞伎であるが、ラップの場面もありリズム感を覚えるのが大変だったそうである。

公演中は歌舞伎の役者さんの「目」でも演技をすることに感動もした。また、今回参加したことで、友人や仲間が多くできたという。西澤さんは「今までは歌舞伎と言うと固いイメージで敬遠しがちであったが、比較的気楽な目線で楽しめることがわかった。これからももっと歌舞伎の魅力に触れる機会があれば」と希望している。

イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんから、どしどし情報をお待ちしています。

夏休み子ども体験講座

市民活動サポートセンターでは、登録団体との共催で子ども体験講座を開催します。
社会参加のきっかけづくりに、親子での参加を歓迎します。

授産施設「ふれっ手」体験講座 ～親子参加大募集！～

- 手芸品制作やレクリエーションなどを通して「ふれっ手」の仲間と交流します。
- ◇日時：8月4日（水）10時～13時
 - ◇場所：身体障害者通所授産施設「ふれっ手」
（松本市旭 2-11-45）
 - ◇料金：無料
 - ◇対象：小学生以上（親子参加大歓迎）10名

子どもが輝く食育ネットワーク松本 ～親子料理教室～

- 松本で採れた夏野菜を使って、親子で料理を作り、試食します。
- ◇日時：8月7日（土）10時～13時
 - ◇場所：なんなん広場 調理室
（松本市芳野 4-1）
 - ◇料金：一家庭 1000円
 - ◇対象：子ども（幼児・小学生・中学生）
と保護者 15家庭

<申込み・問合せ>市民活動サポートセンター

TEL/FAX 0263-88-2988 E-mail support-center@support-center.jp

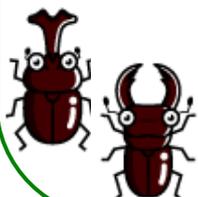
申込み受付期間は、7月15日～7月30日です。（先着順）



わおん♪ 自然体験隊 CAMP

自然体験キャンプでは生き物探し、夕食作り、ナイトハイク、星の観察、川遊びなどをして、子どもが自然と触れ合う機会をつくります。テントに泊まる貴重な体験ができます。

- ◇日時：8月7日（土）10時半集合
8月8日（日）14時解散
- ◇場所：塩尻市柏茂会館
（塩尻市大字洗馬 4007-1）
- ◇料金：年間登録者 7000円
登録料 1500円 未登録者 8000円
- ◇対象：小学4年生～中学3年生
- ◇問合せ：持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪
TEL/FAX 050-3004-2388
E-mail waon@ac.anone-net.jp
URL <http://waon.naganoblog.jp>



※ 天候などにより内容が変更
になることがあります。

Peerful おはなし会

Peerfulは「摂食障害に対する誤解や偏見」を解くことを目的とした団体です。摂食障害の話や自助グループの活動について話してみませんか。

- ◇日時：7月18日（日）13:00～16:00
- ◇場所：Mウイング3階（会議室3-2）
- ◇参加費：1000円
- ◇問合せ：TEL 080-5143-7449
E-mail info@peerful.jp

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。そんな中いっそう「熱い」思いに燃えて一生懸命頑張って活躍しておられる皆さんにお話しを伺い取材をさせていただきました。言葉の端々から仕事への熱意や信念、自分の生き方への誇りが感じられました。自分自身見習うべきことが沢山あった取材であり編集作業でした。ご協力いただき本当にありがとうございました。(K)

